

平成29年度～30年度 多摩健生について

趣旨：多摩健生体制の構築及び新しいAD養成・リーダー育成の意義を鑑み東京都民の皆様を明るくすることを目的とする。

取組内容
(1)
①AD認定者数の40%の認定者の参加（協力）と活動できる場の提供
②各行政機関の行政助成金の活用
③他協議会の相互支援や連携又協働事業
④2020年のオリンピック開催で都民の健康意識・健康増進活動の活発化
⑤東京圏高齢化危機回避戦略
⑥AD養成講座を拡大→新規会員増・既ADの力を伸ばす
(2) 現在の現状
①社会参画の意識の低下
②ADの自信を育み能力を引き出す
(3) 社会状況
①超少子高齢化・生産年齢人口の減少
②グローバル化の進展・国際的相互依存の深まり
③技術革新等による社会構造・雇用環境の変化

目標
平成29年度 → 平成30年度
事業活動（他の会員の参加）→参加の喜びを →
三人称活動（社会貢献）→会社人間→社会人間
多摩地区ネットの活性化（地域特性の強みを生かす）→
女性交流会開催 → AD女性会員増加
ポールウォーキング開催 →指導者養成→AD増加 (ベーシック)
人口減少・少子高齢化社会→人々の活動・交流の促進
→ 東京都の活性化→まちづくり
フレイル予防活動

今後1年間のスケジュール

平成29年												平成30年						
1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	12.	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.

これからの方向性～AD養成講座～AD増加

(求められる社会像)

知識基盤社会

基礎力

思考力

① 何を知っているか、何かできるか

② 知っていること、できることをどう使うか

◦ 各教科に関する知識や技能など

◦ 主体的・協働的に問題を発見し解決していくために

生涯学習社会

◦ 身体的技能や芸術表現のための技能等

必要な思考力、判断力、表現力等

持続可能な社会

実践力

③ どのように社会・東京都と関わり、よりよい人生を送るか（人間性や学びに向かう力等の態度）

◦ 主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力や自己の感情や行動を統制する能力

◦ 多様性を尊重する態度、持続可能な社会参画に向けた態度、リーダーシップ、思いやりなど人間性に関するもの

何ができるようになるか

(何を学ぶのか)

* 新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた科目（教科）の新設や目標・内容の改善

- グローバル社会に不可欠な語学能力の強化
- 我が国の伝統文化に関する教育等の充実

(どのように学ぶか)

* アクティブラーニング（主体的・協働的学び）の視点からの不断の行動を改善

- 習得・活用・探究という学習のプロセスの中で問題発見、解決を念頭に置いた深い学びの過程が実現できるか
- 他者との協働や外界の情報との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、又、対話的な学びの過程が実現できるか